

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
県営舟入住宅2号館(仮称)

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境			0.40					3.8
1 音環境		2.6	0.20	2.4	1.00			2.4
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 騒音レベル								
1.2 遮音		3.0	0.40	2.7	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能				2.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		5.0	0.47	5.0	1.00			5.0
2.1 室温制御		5.0	1.00	5.0	1.00			
1 室温設定								
2 室温変動の抑制								
3 外皮性能	熱損失係数=2.90W/m ² K (<3.02…面積緩和基準値)	5.0	1.00	5.0	1.00			
4 ゾーン別制御性								
5 室温変動の抑制								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境		1.9	0.33	3.2	1.00			3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.30	3.4	0.50			
1 屋光率	屋光率=3.0			5.0	0.50			
2 方位別開口					0.30			
3 屋光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.50			
1 グレア対策								
2 屋光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		1.0	0.15					
1 照度		1.0	1.00					
2 照度								
3.4 照明制御		1.0	0.25					
4 空気質環境				3.3	1.00			3.3
4.1 発生源対策				4.0	0.63			
1 化学汚染物質	ホルムアルデヒド発散建築材料は全てF☆☆☆☆以上を使用(天井裏共)			4.0	1.00			
2 化学汚染物質								
4.2 換気				2.3	0.38			
1 換気量				3.0	0.33			
2 自然換気性能				1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33			
4 換気設備								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能			0.30					2.5
1 機能性		2.8	0.40	2.0	1.00			2.0
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	2.0	0.60			
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応				2.0	1.00			
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たす	4.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		1.0	0.40	2.0	0.40			
1 広さ感・景観				3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31					2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.33					
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度 劣化対策等級3	5.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な給水管に硬質塩化ビニル管を選定	5.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			2.2	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		1.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					2.6	0.50	
1	階高のゆとり				3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制		住宅性能表示制度 省エネルギー対策等級4	5.0	0.40		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			2.1	0.40		-	2.1
4 効率的運用						-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
1.1	節水	水栓、便器に節水型を選定	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
2	雑排水再利用システム導入の有無					-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63		-	3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体、仕上げ、設備の分別性向上	5.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22		-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	断熱材		3.0	1.00		-	
3	冷媒		-	-		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		劣化対策等級3の獲得	4.5	0.33		-	4.5
2 地域環境への配慮			2.4	0.33		-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	広告物照明を行っていない	3.0	0.30		-	